

6 月 17 日にプランクトン調査(燧灘)を行いましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・魚毒性を示す有害プランクトンであるシャットネラ属(アンティカ、マリーナ)の出現が確認されました。最高細胞密度(2 種合計値)は 2 細胞/mL(定点 KA14、15)です。前回調査(6/7)時より減少傾向にありますが、引き続き今後の情報にご注意ください。
- ・貝毒の原因となる有毒プランクトンは確認されませんでした。
- ・小型珪藻類は低密度でした。
- ・燧灘沖合の表層水温は約 21～23℃、溶存酸素(DO)は約 5～8 mg/L(表層～底層まで)で推移しています。

表：2021 年 6 月 17 日有害・有毒プランクトン調査結果（海水 1 ミリリットルあたりの細胞数）

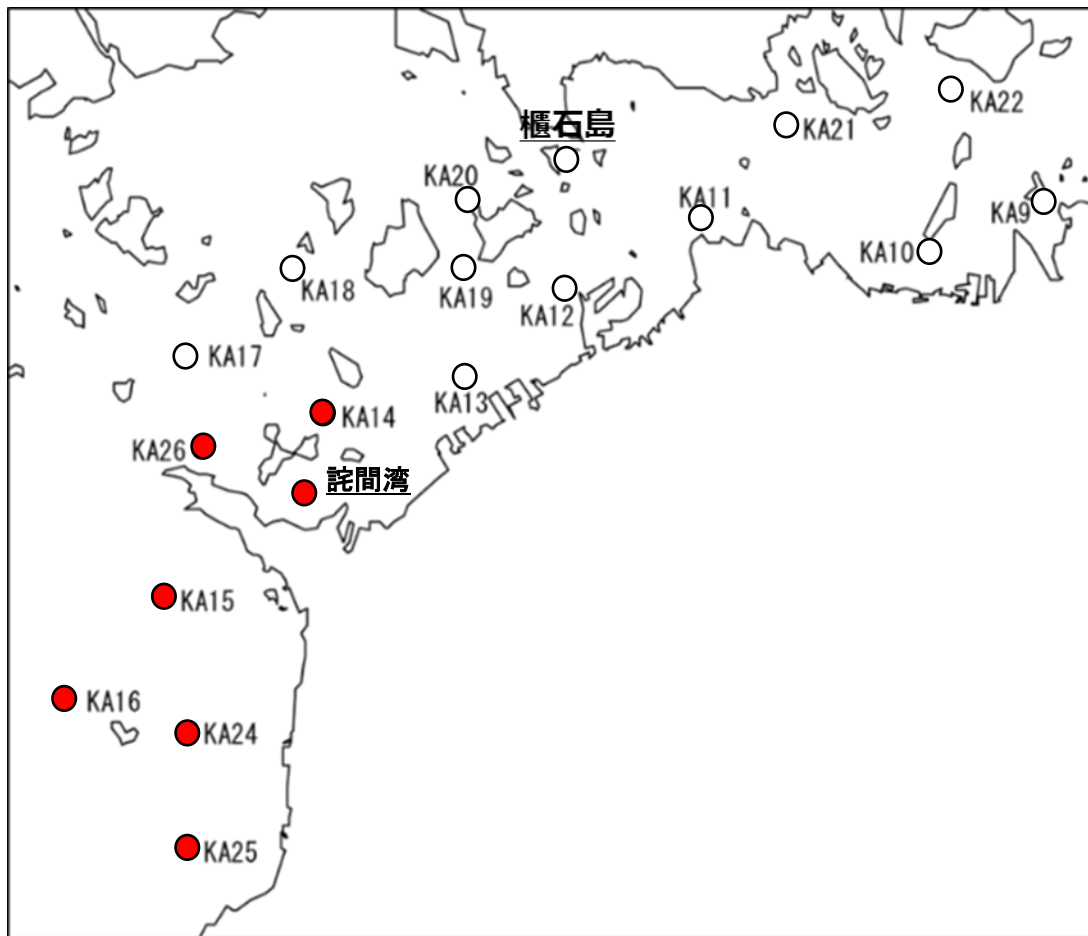
調査地点	水深 (m)	シャットネラ・ アンティカ	シャットネラ・ マリーナ	シャットネラ・ オバータ	カレニア・ ミキモトイ	ココロディニウム・ ポリクリコイデス	シャットネラ・ グロボーサ	シュードシャ ットネラ・ベル キュローサ
KA14	0	0	<u>2</u>	0	0	0	17	0
	10	<u>1</u>	0	0	0	0	18	0
KA15	0	0	0	0	0	0	80	0
	10	0	<u>2</u>	0	0	0	84	0
KA16	0	0	0	0	0	0	65	0
	10	0	0	0	0	0	9	0
KA24	0	0	0	0	0	0	68	0
	10	0	0	0	0	0	68	0
KA25	0	0	<u>1</u>	0	0	0	25	0
	10	0	0	0	0	0	54	0
KA26	0	0	<u>1</u>	0	0	0	75	0
	10	0	0	0	0	0	23	0
詫間湾	0	0	0	0	0	0	16	0
	10	0	0	0	0	0	18	0

【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471

【参考】調査定点（備讃瀬戸・燧灘）



* 赤潮定期調査（燧灘）は合計7定点（KA14、15、16、24～26、詫間湾）で行っています。

【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテナラ	-	50 細胞/mL